

# 地域の持つ「宝」を生かした 元気な丹後

## 平成26年度 京都府の主な予算

京都府では、平成26年度までに予定されている京都縦貫自動車道の全線開通等交通基盤整備の進捗を生かし、地域の皆さん、市町と一丸となって、丹後地域をさらに魅力あるまちにしていこうとする「海の京都」事業を推進していきます。また、これからの丹後を担う若い力の育成、健康長寿の丹後地域に暮らす高齢者の安心・安全対策、「食」「自然」など地域の「宝」を生かした観光・産業振興などに取り組み、地域のさらなる発展を目指します。

## 「海の京都」構想実現に向けた主な事業

### ■「海の京都」観光振興戦略拠点整備事業 3億7,500万円

各市町が策定しているマスタープランに沿って、地区内の道路、河川、公園などの府施設等を各地区独自の歴史文化に根ざしたデザインで統一し、魅力向上を図ります。



かぶと山展望台イメージ (京丹後市)

### ■「海の京都」美観事業 5,400万円

民間の観光関連施設の外装整備などを支援し、「海の京都」戦略拠点を、統一コンセプトに沿った魅力ある景観にしていきます。

### ■「海の京都」周遊ネットワークの整備 1億224万円

**北近畿タンゴ鉄道リニューアル支援**  
北近畿タンゴ鉄道の魅力向上の取り組みを推進するとともに、快適・安全な運行を目指し、引き続き車両の空調設備や内外装をリニューアルしていきます。



昨年にデビューした  
通勤用車両

**周遊バスの利便性向上**（「海の京都」海陸周遊整備事業）  
宮津から天橋立、伊根、経ヶ岬へと丹後半島を周遊する幹線路線バスの車両を、魅力的な内外装にするための支援を地元市町とともに行います。

## 振興局の主な独自事業 地域振興計画推進費 1,570万円

### ■TOMORROW丹後プロジェクト

10～20年後の丹後地域を見据え、地元高校生が企画段階から参画する地域イベントを開催するなど、地域活性化に若い力を生かし、若年層の地元への愛着、誇りの醸成を図ります。

#### プロジェクトの主なイベント

10月 丹後・食の王国 食と文化の祭典(丹後あじわいの郷)



文化ステージ(25年度)

ばらずし企画(25年度)

### ■災害に強い丹後の人づくり事業

高い高齢化率、全市町が海岸に接しているなど、丹後地域特有の実情を踏まえた訓練のほか、地域を守る防災リーダーの育成講習会など、市町との連携により、丹後地域の防災・減災対策を推進します。

### ■山陰海岸ジオパークPR事業

山陰海岸ジオパークの知名度向上や魅力発信のため、モニターツアーの開催、地域の食を生かした取組などを行います。



### ■京都ジオトレイン(仮称)運行事業

北近畿タンゴ鉄道の利用促進・観光誘客のため、「あかまつ」「あおまつ」に続くリニューアル車両「くろまつ」を活用し、府内の山陰海岸ジオパークを巡るツアーを実施します。



「丹後くるまつ号」(平成26年5月25日運行開始)

# 「明日の京都」丹後地域振興計画

## 産業振興による丹後地域の活性化

### ■「丹後・食の王国」プロジェクト

**丹後あじわいの郷を核に「丹後・食の王国構想」を推進**  
丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業 1,380万円  
首都圏での商談会や都市部での丹後産品販売フェアなどを通じて丹後の食を売り込むとともに、丹後あじわいの郷で「学生レストラン」を実施するなど、「丹後・食の王国」の取り組みを進めます。

**「丹後・食の王国」を支える担い手づくり**  
農業経営実践学舎づくり事業 8,034万円  
「丹後農業実践学舎」において、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施します。



学生レストラン



丹後農業実践学舎

● 明日の「京都村」づくり事業 4,200万円  
地域ぐるみで意欲的に農山漁村ビジネスや集落維持・発展活動に取り組む農山漁村集落を支援します。

● 野生鳥獣被害総合対策事業 4億4,826万円  
有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策などを実施し、野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めます。

### ■丹後織物ブランドビジネスモデル推進事業 500万円

● 新商品開発と販路開拓を支援し、丹後織物の新しいものづくりを全国に向けて発信します。昨年4月、在阪テレビ局で紹介された若手グループ「TANGO+」など、若い担い手への支援も強化していきます。



催事「世界のTANGO TEXTILE」の様子 (10月 阪急うめだ本店)

## 府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり

### ■地域力再生プロジェクトの推進 3億4,368万円

「自分たちの地域をみんなの力で何とかしたい」というボランティアグループ、NPO法人、自治会など地域に暮らす皆さんの地域力再生活動を京都府と市町が連携して応援しています。  
【募集期間】(第1次) 4/1(火)～6/2(月)  
(第2次) 9/1(月)～9/30(火)  
【補助率】府と市が協働で2/3など



和舟(丸子舟)を復活し、地域の取り組みに活用 (NPO法人わくわくする久美浜をつくる会)



p.24 京丹後市「市民力活性化推進プロジェクト」事業補助金と同時に申請していただけます。

### ■京都式地域包括ケア推進費 21億1,221万円

● 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる「あんしん社会」を構築するため、認知症プロジェクトや看取りプロジェクトなどオール京都体制で医療や介護、福祉のサービスを一体的に提供する「地域包括ケア」の取り組みを推進します。



「看取りシンポジウム」の様子 (3月 アグリセンター大宮)

### ■緊急輸送道路の安心整備 234億3,957万円 (生活・交通基盤整備事業)

● 自然災害時に力を発揮する道路ネットワークづくりの一環として、幅の狭い区間をなくしていくため、国道312号(京丹後市 野中バイパス、京丹後市 永留・橋爪工区)、国道482号(京丹後市 丹後弥栄道路)などの整備を進めています。

## 環境と文化の伝承

### ■山陰海岸ジオパーク推進事業 1,110万円



「牡蠣棚・夜明けの詩」山陰海岸ジオパーク写真コンクール特選作品 (久美浜湾)

● 26年度の世界ジオパーク再認定を目指し、ジオパークの地質資源の保全のため、学術交流を推進します。



山陰海岸ジオパーク

### ■地域文化づくり事業 400万円

● 「文化の仕掛人」(アートコーディネーター)を、市町と協力して府内に2名配置し、文化資源を活用した活動への支援や、アートによる地域資源の掘り起こしを地域の皆さんと一緒に進めます。丹後地域では、京丹後市と協力して1名を配置します。



● p.25 京丹後市「地域文化づくり事業の推進」との連携事業です。

※額は全て平成26年度当初予算(府域全体に係るもの)です。1万円未満四捨五入。